

# 家自体が[ ]パネルで酸化しない

抗酸化工法住宅 本間邸 本間 淳さん



私が抗酸化工法と出会ったのは11年前の平成6年です。この間、抗酸化工法の凄さをいくつも体験し、家を新築するなら絶対に抗酸化工法と心に決めていました。その願いが平成15年に叶いました。設計・監理は会田伸一さんです。

私の家は抗酸化処理しているので家自体が[ ]パネルです。コップに牛乳を入れて置くとチーズになります。恐る恐る食べて見ましたが、これが結構香ばしい臭いで美味しい。妻は以前、寝不足や疲れが溜まると口の中に口内炎が出来ていました。予防としてビタミン剤を毎日飲んでいました。1日でも忘れると[ ]目には必ずできていましたが、新居ではビタミン剤は一切飲まず口内炎もできません。てんぷらや揚げ物などをよくしますが調理台の周りの掃除は、一

度もしていません。手でさわっても油がつかず、会田さんは油が酸化しないので当然だと言っていました。

抗酸化工法の家は冬は暖房費節約、夏は冷房要らずです。1階は床暖、2階は各部屋パネルヒーターで、現在、真冬で朝2時間、夜2時間の暖房です。以前住んでいた18坪の家の暖房はストーブ一台。今の家は42坪でオールセントラルです。前の家に比べ2・3倍もの大きさなのに暖房費は80%節約されました。いつもお世話になっている灯油屋さんが来た時、心配して「オールセントラルで40坪を超えると灯油代が倍になるね。大変だよ、と言ってくれました。ところが新しい家の灯油がなんで減らないんだろうと言うので抗酸化の話をしてあげたのですが、あまり理解してなかったようで「こういう家を建てられると困んだよね」と一言。夏は逆にすごく涼しく、さわやかな空間になります。お客さんに「どうしてこんなに涼しいの」と聞かれます。それがよその家に行った時は「どうしてこんなに暑いのか」と聞いてくるのです。